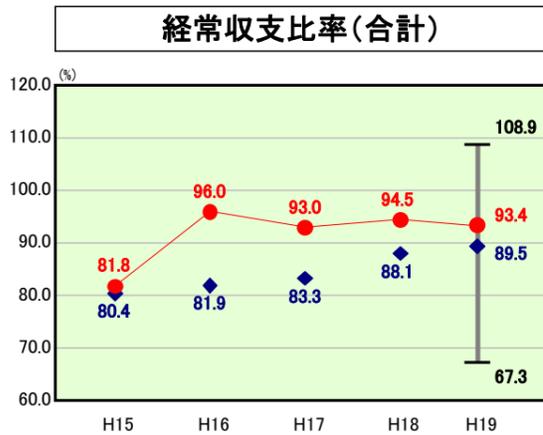


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

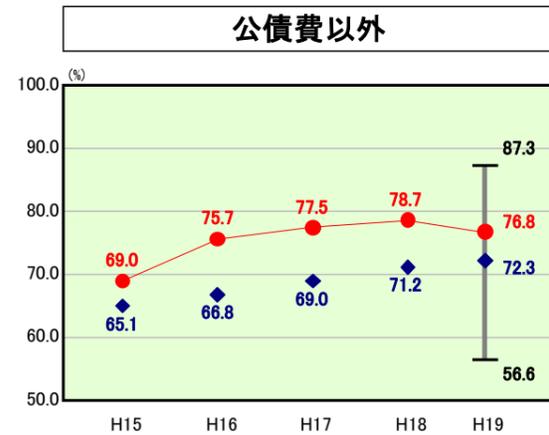
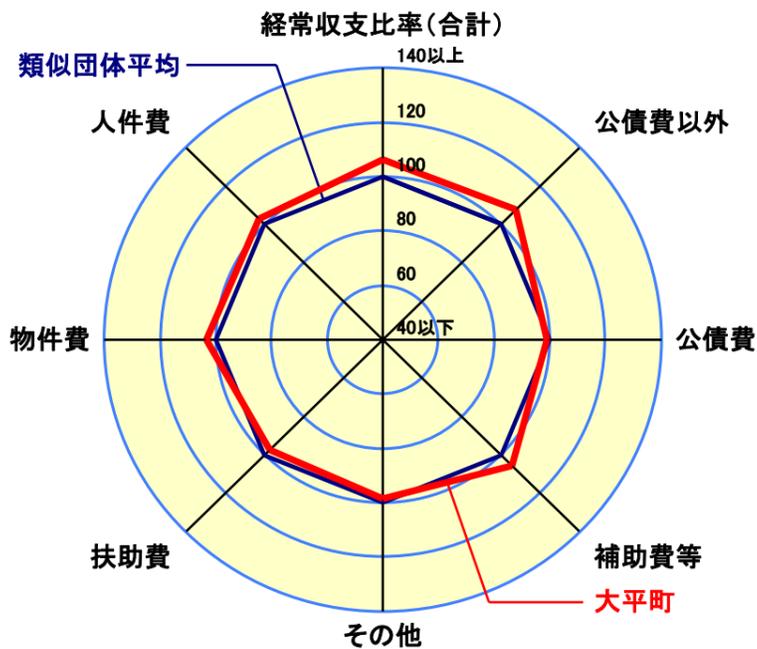
経常収支比率の分析



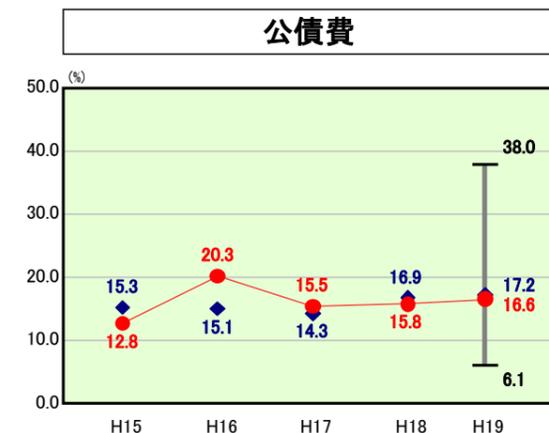
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 ▸
類似団体内最小値 ▾

人口	29,111人(H20.3.31現在)
面積	39.80km ²
歳入総額	7,708,605千円
歳出総額	7,394,481千円
実質収支	310,528千円

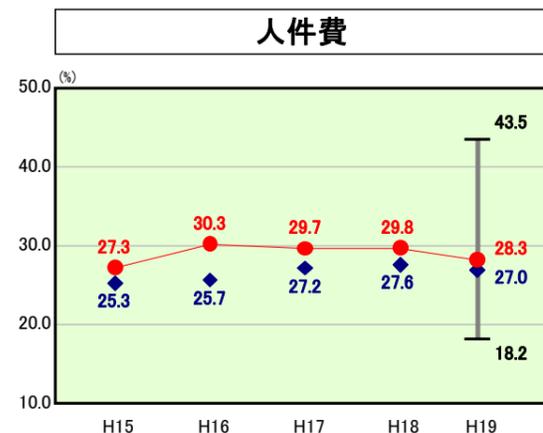
H19類似団体内順位 110/153
全国市町村平均 92.0
栃木県市町村平均 88.7



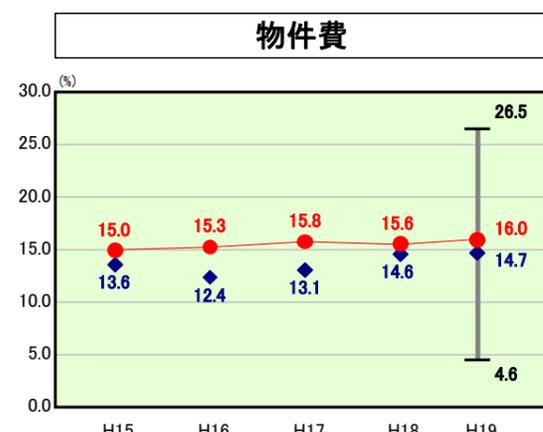
H19類似団体内順位 111/153
全国市町村平均 71.7
栃木県市町村平均 71.2



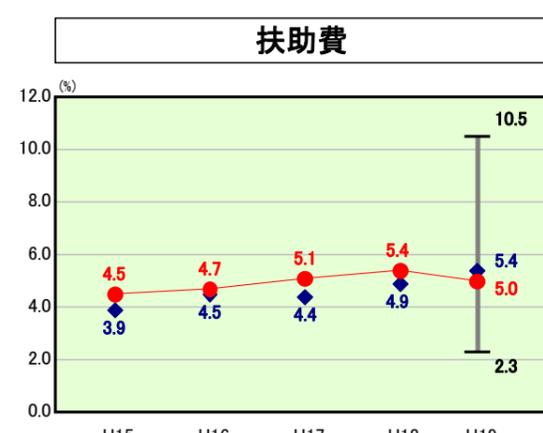
H19類似団体内順位 65/153
全国市町村平均 20.3
栃木県市町村平均 17.5



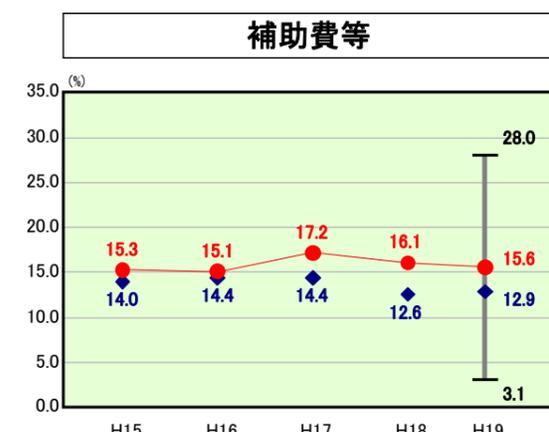
H19類似団体内順位 89/153
全国市町村平均 28.0
栃木県市町村平均 29.3



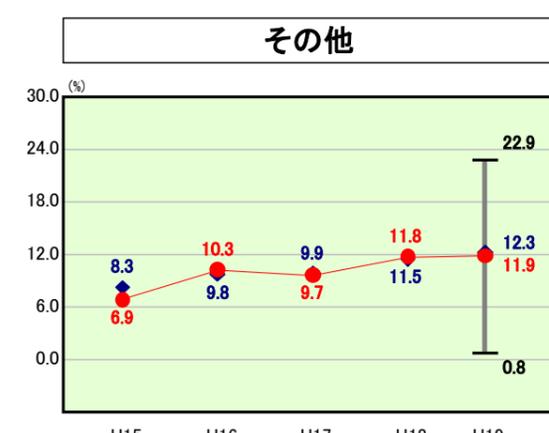
H19類似団体内順位 102/153
全国市町村平均 13.1
栃木県市町村平均 13.1



H19類似団体内順位 69/153
全国市町村平均 8.8
栃木県市町村平均 7.3



H19類似団体内順位 102/153
全国市町村平均 10.4
栃木県市町村平均 10.3



H19類似団体内順位 69/153
全国市町村平均 11.4
栃木県市町村平均 11.2

※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【人件費】
類似団体より若干上回っているが、昨年度と比較し1.5ポイント低下した。今後も集中改革プランに掲げた取組の実施により改善を図っていく。

【物件費】
昨年度と比較しわずかに上昇したが、指定管理者制度の活用も順次進められており、今後はコストの削減効果が出てくることが見込まれる。そのほか、住民サービスの維持向上に配慮しつつ、事務事業の見直しを行いコストの低減に努める。

【扶助費】
前年度と比較し0.4ポイント低下したが、少子高齢化の進展により今後も増加が見込まれる。硬直性の高い経費であることから、単独で実施する新規事業については慎重な導入を図るとともに、従来からの事業についても、適宜見直しを行うことで財政を圧迫する上昇傾向に歯止めをかけるよう努める。

【公債費】
類似団体平均よりも下回っており、現時点において平成19年度を償還のピークとしていることから、より減少が見込まれるが、事業の選別による新規発行債の抑制、償還の平準化を図り、公債費の上昇を抑制するよう努める。

【補助費等】
類似団体平均との差が最も大きい経費が補助費等となっている。事務事業の整理合理化を図り補助費等の抑制に努める。

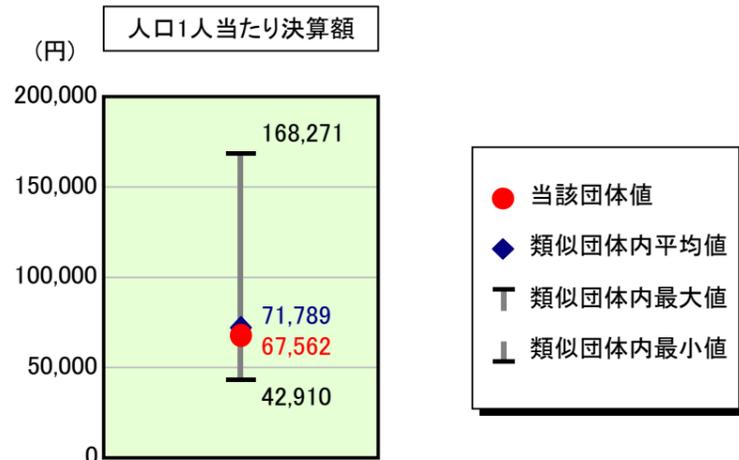
【その他】
類似団体とほぼ同指数であるが、年々増加傾向にある。特別会計への繰出金が増加傾向にあり、特に下水道事業については、今後も大型投資が続く予定であるので、使用料の見直しも含め経費の節減に努める。

【普通建設事業費】
平成17年度に大幅に増加したのは、老朽化した小学校の改築を行ったためである。本事業の終了に伴い、平成19年度決算では減少となったが、今後も大型投資事業が予定されているため、事業の計画的な実施による事業量の平準化に努める。

歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

栃木県 大平町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

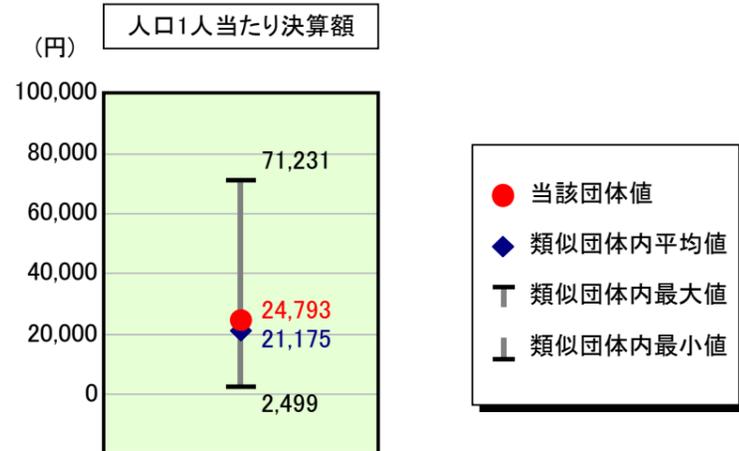
項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
人件費	1,681,607	57,765	61,566	▲ 6.2
賃金(物件費)	97,366	3,345	4,205	▲ 20.5
一部事務組合負担金(補助費等)	225,936	7,761	7,620	1.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	143	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	108,671	3,733	2,851	30.9
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	37,375	1,284	1,227	4.6
▲退職金	▲ 184,153	▲ 6,326	▲ 5,824	8.6
合計	1,966,802	67,562	71,789	▲ 5.9

参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.29	7.02	▲ 0.73
ラスパイレス指数	96.4	95.6	0.8

ラスパイレス指数及び職員数に係る項目については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである(以降の項目について同じ。)。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目を「-」としている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

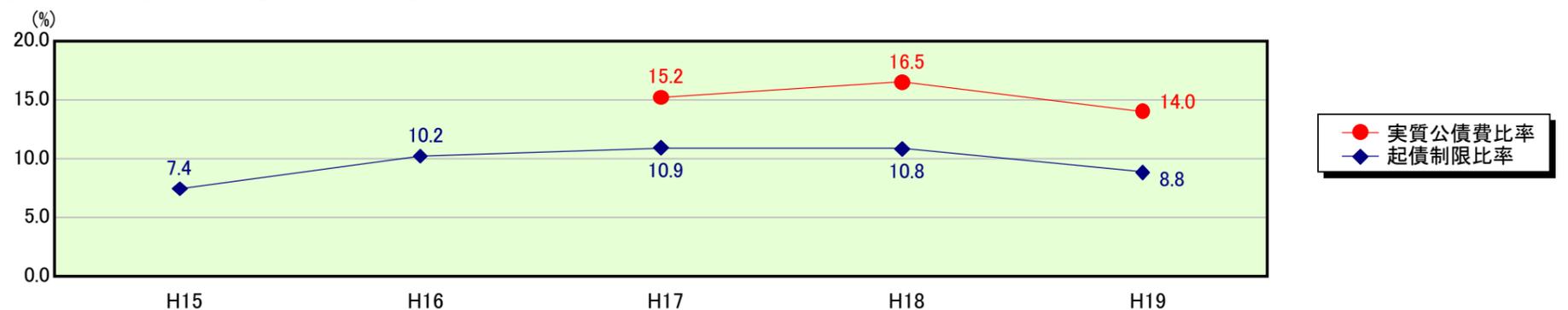


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	824,470	28,322	32,851	▲ 13.8
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	9	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	299,179	10,277	10,088	1.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	166,118	5,706	3,876	47.2
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	35,654	1,225	1,484	▲ 17.5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	16	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 603,675	▲ 20,737	▲ 27,148	▲ 23.6
合計	721,746	24,793	21,175	17.1

平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、「-」としている(以降の項目について同じ。)

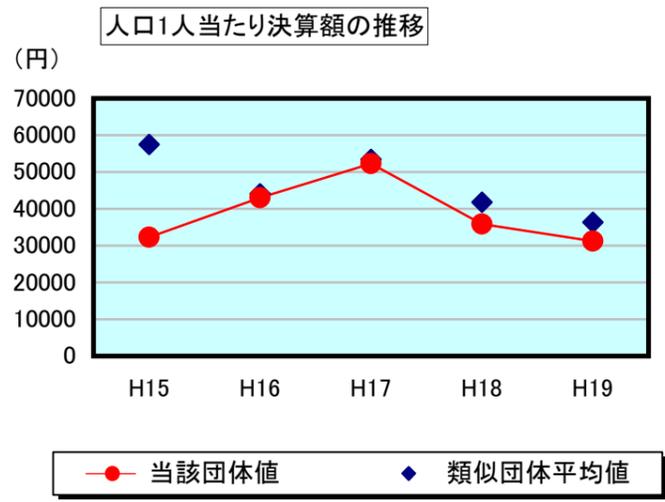
※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

栃木県 大平町

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H15	923,236	32,295	▲ 48.0	57,482	▲ 9.8	▲ 38.2
うち単独分	838,522	29,331	▲ 47.5	39,835	▲ 13.9	▲ 33.6
H16	1,235,602	43,010	33.2	44,041	▲ 23.4	56.6
うち単独分	882,661	30,725	4.8	32,321	▲ 18.9	23.7
H17	1,510,120	52,295	21.6	53,398	21.2	0.4
うち単独分	915,473	31,702	3.2	34,793	7.6	▲ 4.4
H18	1,034,125	35,815	▲ 31.5	41,759	▲ 21.8	▲ 9.7
うち単独分	782,841	27,112	▲ 14.5	25,833	▲ 25.8	11.3
H19	908,160	31,196	▲ 12.9	36,358	▲ 12.9	0.0
うち単独分	581,913	19,989	▲ 26.3	21,039	▲ 18.6	▲ 7.7
過去5年間平均	1,122,249	38,922	▲ 7.5	46,608	▲ 9.3	1.8
うち単独分	800,282	27,772	▲ 16.1	30,764	▲ 13.9	▲ 2.2